



# 学校教育目標

四本の柱

すなおさ 若々しさ  
たくましさ ゆかしさ

## 清水中のよいところ

- ・生徒と先生の距離が近く温かい。
- ・学級や学年の枠を超えた仲のよさ、団結力がある。
- ・互いに声を掛け合い、当たり前のことを徹底できる。



## 改善すべきところ

- ・自分で学び方を考え、工夫することができないことがある。
- ・配慮に欠ける言動が見られることがある。
- ・身の回りの整理整頓や自分を律しての生活に課題が見られる。



# 自律を育む学校

自己決定して行動する

支え支えられる

## しっかり「学ぶ」

- 1 生徒が学びの主人公
  - ・生徒が課題を発見し、自己決定しながら追究する授業づくり。
  - ・ICTを活用し、自分なりの方法や友との対話を通して学びを深める。
- 2 「清流の時間」のシンカ
  - ・地域を主なフィールドにして探究的な学習を行う。
  - 「地域で、地域と学ぶ」
  - 「地域の一員になる」 } (1年)
  - 「個人探究」 (3年) } (2年)
  - ・小中高大連携をさらに進めていく。

## みんなと「ともに」

- 1 伝統を受け継ぐ活動
  - ・「無言・膝つき・二度がけ」の磨きあげる清掃。
  - ・地域での全校奉仕活動。
  - ・よりよい学校づくりに向けた話し合い。
- 2 生徒会活動
  - ・生徒が自ら考え運営する自治活動を通して、充実した学校生活を創り出す。
- 3 部活動
  - ・スポーツ文化活動の指針に沿った目標に向かって活動する。
  - ・スムーズな地域展開を図る。

## ずっと大事に「怒の心」

- 1 「特別活動」の充実
  - ・安心できる仲間づくりを学級・学年全校で取り組む。
  - ・縦割り活動の推進
- 2 「道徳科」の充実
  - ・ローテーション道徳を行い、心を豊かに耕していく。
- 3 地域を愛する心の醸成
  - ・1年、2年 地域の魅力を再発見 / 生き方を考える / 地域貢献
  - ・3年 グローカルな探究

(Think globally Act locally)